

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 新規食品品質マーカーの探索とその高感度検出
2. 研究代表者： 飯嶋 益巳（東京農業大学 応用生物科学部 教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

新規マーカーによる食品の品質の定量化手法を開発し、食の安全・安心の実現を目指す挑戦的な課題である。

フェーズ 1 では、熟成肉のおいしさに関わる低分子マーカーを探索し、さらに独自の抗体を用いる高感度検出技術を開発して食品の品質評価方法を確立し、知的財産の権利化を進めていることは評価できる。フェーズ 2 は、様々な品質マーカーを単離・同定してこれらを簡便かつ高感度に検出できるキットの開発を目指す挑戦的な計画となっており期待できる。

以上